



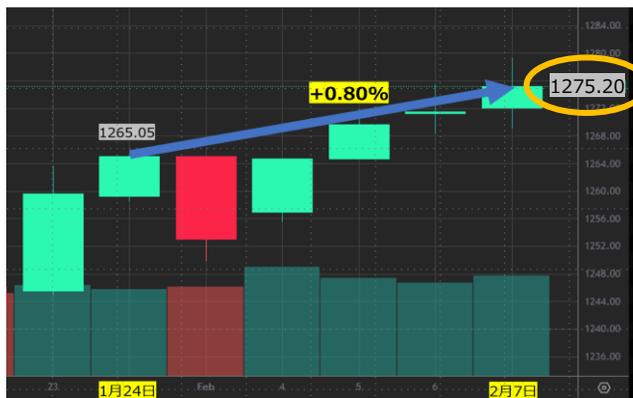
※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年2月10日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 1/24-2/7)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>0.80%</b>	<b>0.80%</b>	<b>0.66%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>0.24%</b>	<b>0.24%</b>	<b>-0.29%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>0.97%</b>	<b>0.97%</b>	<b>1.34%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>2.94%</b>	<b>2.94%</b>	<b>0.83%</b>

ベトナムのお正月テトに伴う連休明け2月3日の市場は米国のトランプ政権がメキシコやカナダ、中国に対する追加関税を発表したことを受けて下落して始まりました。しかし、メキシコとカナダへの追加関税の発動が1ヶ月延期されたことで、投資家心理が改善いたしました。昨年10-12月期の良好なベトナム企業決算の支えもあり上昇基調となり、VN指数はテト前の1265.05ポイントから1275.20ポイントへと0.80%の上昇となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+0.24%、中型株指数が+0.97%とそれぞれ続伸いたしました。また、小型株指数が+2.94%と大きく反発しております。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート (ドン対円レート)</b>	<b>-3.72%</b>	<b>-2.70%</b>	<b>-3.54%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては、トランプ政権による関税強化への警戒感などから、米ドルに対して下落いたしました。一方、ドル・円相場は、日銀の早期利上げ観測が強まる中で、ドル安・円高が進みました。ベトナムドンは、円に対して2週間で-3.72%と下落に転じております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.6%	素材	0.8%
不動産	0.2%	公益事業	1.2%
生活必需品	-0.1%	エネルギー	0.8%
一般消費財	-1.6%	情報技術	-4.5%
資本財	1.8%	ヘルスケア	0.5%

セクター別に見ますと、7セクターが上昇いたしました。特に左下の資本財が+1.8%、左上の金融が+1.6%と続伸いたしました。一方、中国の人工知能関連企業 DeepSeek (ディープシーク) の台頭が世界にショックを与えた余波を受けて、右下から2番目の情報技術が-4.5%と大きく反落しております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベトインバンク (金融) [CTG]	+7.4%
テクコムバンク (金融) [TCB]	+4.0%
バオ・ベト・ホールディングス (金融) [BVH]	+2.6%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
FPT (情報技術) [FPT]	▲4.8%
サイゴンビール (生活必需品) [SAB]	▲2.6%
ベトナム乳業 (生活必需品) [VNM]	▲2.3%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、大手国営銀行のベトインバンクが+7.4%、大手民間銀行のテクコムバンクが+4.0%とそれぞれ続伸しております。また、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+2.6%と上昇に転じました。一方、下落銘柄は情報技術大手のFPTが-4.8%、サイゴンビールが-2.6%、ベトナム乳業が-2.3%とそれぞれ反落しております。

### VN指数直近1年の推移



VN指数は、大型連休を挟んで3週連続の上昇となりました。1月の製造業購買担当者景気指数が48.9へと低下し好不況の分かれ目とされる50を下回っていることには注意が必要ですが、1月の小売売上高は前年同月比9.5%増と、前月から若干加速するなど底堅さを示しております。また、昨年10-12月期の企業決算は総じて堅調で、業績は拡大基調にあります。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上